

= 委員会だより =

システム委員会

システム企画室 瀧澤 明 美

平成18年度の委員会開催は、6回でした。

今年度は、新医療情報システム導入に向けての活動を進めてきました。

導入するシステムのメーカー選定を5月、6月で第1回目の医療情報システムデモンストレーションを行い、更に11月には、3社にしぼって同時デモンストレーションを行い、その結果1月の委員会を拡大システム委員会として各部署の責任者も参加していただき、1社を選定し、管理会議でNECに決定しました。

システム委員会の名称も医療情報システム委員会と改め、新医療情報システムの院内体制組織図と各

ワーキング構成、メンバーの選定、委員会の要綱を作成し、2月26日にNECとのキックオフミーティングを行い、実質的な導入準備が始まりました。

その他の委員会活動としては、前年度と同様に各部署からの要望・提案の報告と検討、現行システムの障害への対応報告を行って来ました。

今年度は、ワーキンググループの活動報告と懸案事項の検討を中心に院内の全体的な業務調整、新医療情報システムの運用に関する検討と決定が主な活動になります。

委員のみならず全職員の協力を宜しく願います。

北海道社会保険病院 医療情報システム院内体制

管 理 会 議
(決定、承認機関)

医療情報システムに関する決定、承認の
打ち合わせ時に事務局としてシステム企画室が加わる



医療情報システム委員会

(運用決定、各WG間の確認、調整、取りまとめ機関)

委員長	小笠原システム企画室部長
副委員長	瀧澤システム企画室長
委員	各WGの代表者 古 家部長(医) 五十嵐部長(医) 木 村科長(看) 本 間科長(看)
	金 木係長(看) 香沢係長(看) 青柳係長(看) 福 田係長(看) 杉 目係長(事)
	西 部(薬) 熊 谷係長(検) 村上 係長(放) 館 係長(リ) 村 上係長(施)
委員	長 山看護局次長 委 員 大 森医療安全室長
委員	佐々木事務局次長 委 員 佐々木経理課長
委員	越 後栄養管理室長 委員兼事務局 平 間(シス企)
委員	鳴 海診療情報管理室長 委員兼事務局 菅 原(シス企)
委員	川 添地域連携室長



ワーキンググループ一覧

基本 WG	電子カルテ WG	看護 WG	入院・食事 WG	処置 WG	CP WG	手術 WG	医事会計 DPC WG	薬剤 WG	検査 WG	画像 WG	リハビリ WG	透析 WG	インフラ WG	データ移行 WG
医局 看護局 薬剤部 検査部 放射線部 栄養管理室 リハビリ部 医事課 診察管理室 医安管理室 地域連携室 医療相談室	医局 看護局	医局 看護局	医局 看護局 栄養管理室 医事課	医局 看護局 医事課	医局 看護局 診察管理室	医局 看護局 ME部	医局 看護局 医事課 診察管理室	医局 看護局 薬剤師	医局 看護局 検査部	医局 看護局 放射線部 検査部 ME部	医局 看護局 リハビリ部	医局 看護局 ME部	施設課	医局 看護局 薬剤部 検査部 放射線部 栄養管理室 医事課 診察管理室

※WGは、作業内容や検討事項によって必要な関連部門が参加する。

※システム企画室は、全WGに所属する。

褥瘡対策委員会

専任看護師 神 崎 博 子

月1回の委員会では、リンクナースによる褥瘡患者の状態報告・褥瘡ケアについてカンファレンスを行っています。効果的な話し合いが十分にできていませんでしたが、10月より計5名の褥瘡患者回診を行い、実際患者の褥瘡をみることで、具体的でより個別性のあるケアについてのカンファレンスが少しずつではあるができるようになっていきます。

今年度は初級看護師（卒後1年目）を対象に10月体験型の研修を行い、48名参加。アンケート結果より「ベッドをさげた時、頭が低いと患者が言っていた理由がわかった」「所属部署では褥瘡患者のケアはできないので、勉強になった」などの意見がありました。

た。全職員対象には、NST委員会と共催で「褥瘡予防とケア」の講演を行いました。褥瘡ケア用品の展示も行い僅かではありますが、看護師以外のコメディカルにも褥瘡について興味を示してもらえたと思います。

平成18年度 褥瘡発生数 52名
(院内発生34名 院外発生18名)
院内褥瘡発生率 0.039%
褥瘡患者管理加算数 2,106名 金額421,200円

防災委員会

院内火災に備え、年2回の防火訓練の実施指導を行った。

6月27日(火)6階南病棟、夜間発生を想定し通報・避難・誘導訓練を実施した。11月29日(水)老健施設サンビュー中の島内より出火の机上訓練実施した。

消防用施設点検、6月20日～24日 12月12日～16日の年2回の病院全棟の点検を行い消防施設の環境を整理し消防署に報告した。

防火月間時に、月間資料を院内に配布した。(ポスター等)

消防査察、3月7日(水)年1度の豊平消防署による査察検査消防施設・避難路などの指導を受け、問題点を対応した。

防火管理者、研修会などに参加させた。

診療記録管理委員会

委員長 秋 山 也寸史

平成18年8月10日 病理組織診断報告書について

院内の病理組織診断報告書の発生から主治医に渡るまでの流れが各科によって異なるためそれを統一する業務手順の作成について討議しました。原案を作成し、院長へ報告しています。

平成18年12月19日および平成19年3月1日 他医療機関との画像資料等の貸借に関する問題について

病診連携等における他の医療機関との画像資料等の貸借について院内で統一された手順が決定されて

いなかったため、十分な記録管理がこれまでできておらず、その業務手順を整備・作成（新たな借用票および貸出票を含む）し、診療会議等にて周知の上、平成19年4月より実施しました。

全体の統括部署は診療情報管理室ですが、その他、地域医療連携室、医事課、医師、外来および病棟看護師にも、画像資料の貸借管理に各々関わっていただくことになります。忙しい中、煩わしいことと存じますが、新しい手順に慣れていただき、画像資料等を確実に記録管理するためにご協力いただきます様お願い申し上げます。

院内感染対策委員会

委員長 広 瀬 崇 興

月1回の委員会を開催しております。耐性菌サーベイランス、抗MRSA薬の使用状況、針刺し事故などの報告や検討、また週1回の院内ラウンドなどを行っています。ここの所、耐性菌のアウトブレイクもなく、安泰です。今年度は再来年の病院機能評価更新に伴うバージョン5に向け、抗MRSA薬や注射カルバペネム薬使用時の届出制などの体制を整えていく予定です。

トブレイクもなく、安泰です。今年度は再来年の病院機能評価更新に伴うバージョン5に向け、抗MRSA薬や注射カルバペネム薬使用時の届出制などの体制を整えていく予定です。

医療費適正化委員会

委員長 広 瀬 崇 興

月1回の委員会を開催しております。レセプトの返戻、査定について、医事課、日本医療事務センターと主治医に確認しておいて頂いた結果を報告し、問題があればさらに検討する委員会です。

具体的には病名のつけ忘れによるA査定が未だ多いのですが引き続き注意を喚起していく必要があります。来年の電子カルテ化に伴い査定が減少することを期待しています。

DPC適正化委員会

委員長 広瀬 崇 興

この委員会は随時開催です。DPCの適正化を目的としており、具体的な対応が必要な時に主治医と医事課等で検討して頂き、全体的なまとめを報告検討

します。特に昨年からの診療報酬のマイナス算定に伴い、病院の経営はさらに厳しい状況にさらされていますので、より適正な対応をとる必要があります。

地域医療連携推進委員会

委員長 広瀬 崇 興

目的は当院での地域医療を充実するために、病・診連携や病・病連携を具体的に円滑に運用することです。実際の活動は地域医療連携室が行っておりますが、何か問題が起こった時の検討を行うのがこの

委員会です。来年の電子カルテ化の連携システムの導入に伴い、より盛んな連携が可能になることが期待されます。

手術部運営委員会

委員長 広瀬 崇 興

手術部の運営を円滑にするための委員会です。年に1回以上開催しています。

手術の時間割の変更や運営の見直しを行います。

特に最近では2名の常勤麻酔科医では限界に近い手術件数のため、さらなる増員を院長にお願いしている所です。

診療材料委員会

委員長 広瀬 崇 興

医学の進歩に伴い、新しい診療材料が次から次に登場します。この場合、特に高額のものでなければ、書類を出して頂き、委員長と院長が許可を出します。

何か問題があった場合には随時開催することになっています。

医療機器委員会

平成18年度 医療機器等購入一覧

平成18年度における医療機器等の整備状況を下記のとおりお知らせいたします。

● 全社連融資 購入医療機器等

	物 品 名	規 格	メ ー カ ー	数量	申 請 者	摘要	備 考
1	臨床用小型ポリソムノグラフ	アプノモニター NEURO	チェスト	1	呼・耳・生理	新規	
2	電気メス	コンメドシステム 5000	小林メディカル	1	耳・泌・産・手	更新	
3	超音波診断装置（心・腹部汎用装置）	Xario SSA-660A	東芝メディカル	1	小・産	更新	
4	エステックオフポンプ及びアクセス&エクスポートジャーセット	401-152T/400-441他	ゲッツ/メドトロ	1	Dr. 松浦	新規	
5	解析機能付心電計	MAC5500	GE横河メディカル	1	野田係長	更新	
6	8人仕様モニタリングシステム	CNS-9701	日本光電	3	寺島係長	更新	
7	温冷配膳車 デリカート	CD1328M	松下電工	5	相馬課長	更新	
8	無散瞳眼底カメラ	GR-DG10	キャノン	1	澤谷課長	更新	
9	除細動器 ディフィブリレータ	TEC-7621	日本光電	1	堀 科長	新規	
10	脳波計	EEG-1524	日本光電	1	小・生理	更新	
11	デジタルX線テレビシステム	ソニアルビジョン・エイト	島津製作所	1	辻技師長	更新	
12	血圧脈波検査装置	formpwv/ABI-form@net	コーリンメディカル	1	野田係長	更新	
13	ME機器安全解析機器	454A・3156・DPM 4	大正医科	1	寺島係長	新規	
14	血液浄化装置	TR-525	東レ・メディカル	1	寺島係長	新規	
15	全自動錠剤散薬分包機システム	YS-TR-FDS	ユヤマ	1	渡辺部長	更新	

● 自己資金 購入医療機器等

	物 品 名	規 格	メ ー カ ー	数量	申 請 者	摘要	備 考
1	システム顕微鏡	BX51N-33-DO/DP20	オリンパス	1	Dr. 大江	更新	
2	VDT近点計	NP-1000	エイテック	1	澤谷課長	更新	
3	アイシングシステム	V2000 22401	日本シグマックス	1	Dr. 原	新規	
4	内視鏡洗浄消毒装置	OER-2	オリンパス	1	Dr. 広瀬	新規	
5	保育器	V-2100G Bタイプ	アトム	1	Dr. 澤田	増設	
6	心電計（解析機能付）	ECC-9130	日本光電	1	中田副技師長	更新	健診センター（バス）
7	自動身長計付体内脂肪計	BF-220	タニタ	1	澤谷課長	更新	
8	電動診察台	EX-SP 7	タカラベルモント	2	Dr. 古家	新規	
9	フレンチエル赤外線眼鏡	FV-D70	第一医科	1	Dr. 金谷	新規	
10	超音波膀胱内尿量測定装置（ブラダースキャンシステム）	BVI6100	シスメックス	1	Dr. 広瀬	更新	
11	ストレッチャースケール（体重計付ストレッチャー）	AD-6101C	A & D	1	NST委員会	新規	
12	車椅子用体重計	PW-630	タニタ	1	NST委員会	新規	

倫理委員会

委員長 小笠原 英 紀

18年度は4回開催され、14案件が審議された。

平成18年2月8日

1. 高齢者の透析導入前後の診療動向と生命予後に関する観察研究

腎臓内科部長 佐藤 恵

平成18年6月14日

2. EGFR遺伝子変異を有する未治療進行非小細胞肺癌に対するゲフィチニブとプラチナ併用化学療法との無作為化比較試験
3. PS2非小細胞肺癌に対する少量分割Paclitaxel単独療法またはCarboplatinとの併用化学療法の無作為化比較臨床第Ⅱ相試験
4. 高齢者小細胞肺癌に対するアムルビシン、カルボプラチン併用療法の第Ⅱ相試験
5. 既治療小細胞肺癌に対するアムルビシンとノギテカンの無作為化第Ⅱ相比較試験
6. 高齢者非小細胞肺癌に対するCarboplatinと少量分割または一括投与Paclitaxel併用化学療法の無作為化比較臨床第Ⅱ相試験
7. ゲフィチニブ既治療進行非小細胞肺癌に対するゲフィチニブ再治療の第Ⅱ相試験
8. 高齢者非小細胞肺癌に対するパクリタキセルとカルボプラチン併用化学療法の第Ⅰ/Ⅱ相試験

呼吸器内科医長 原田 敏之

9. プレパレーションを行った幼児後期の子供の退院1カ月までの反応について

小児科主任部長 澤田 博行

10. 小児がん患児の教育支援におけるソーシャルワーカーの役割

医療相談室主任 佐藤奈津子

平成18年9月28日

11. 切除不能進行非小細胞肺癌に対するゲムシタビン (GEM) +カルボプラチン (CBDCA) +デキサメサゾン (Dex) 併用化学療法第Ⅱ相試験
12. 進行非小細胞肺癌に対するCPT11/S-1併用療法の第Ⅱ相試験

呼吸器内科医長 原田 敏之

13. エキシマレーザー冠動脈形成術

心臓血管センター長 五十嵐慶一

平成18年11月8日

14. 慢性前立腺炎に対する治療薬の有用性に関する比較検討

泌尿器科副院長 広瀬 崇興

上記の案件は委員会で審査され、一部の改訂を前提に承認された。結果は院長に答申され、いずれも認証を受けた。

治験審査委員会

委員長 小笠原 英 紀

国が定める「医薬品の臨床試験の実施の基準 (GCP)」に基づき毎月開催され、新規の治験実施の可否や、実施中の治験の安全性情報等に基づいた継続の可否について主に審議している。平成18年にGCPの一部改訂が行われたため、当院でもSOP(治験取り扱い基準)およびIRB SOP(治験審査委員会規則(準則))の改訂を行った。

平成18年度治験の実施状況

心臓血管センター・心臓内科	4 試験
泌尿器科	1 試験
呼吸器科	1 試験
耳鼻咽喉科	1 試験

このうち2つの試験が終了し、残りは継続中である。

衛生委員会

委員長 小笠原 英 紀

職員の保健衛生に関する諸計画の立案、および実施遂行を促進することが目的とされる委員会である。全部で9名の委員で毎月開催されている。

主な議題は、職員の定期健康診断、予防接種などのことや、その時々保健衛生上の問題点を話し合っ

ている。18年度は、ノロやインフルエンザウイルスの話題、職員ロッカーの確保の問題、外来棟1階整形外科ギプス室壁のカビ発生問題などが話し合われた。気になることがあれば委員まで連絡願います。

診療記録開示審査委員会

委員長 小笠原 英 紀

診療情報提供申し込みに対して開示の可否を審査する委員会である。以前は申し込みがあれば毎回管理会議の前に委員会を開いていたが、当院の基準に合致するものについては簡素化審査として委員長判断で開示している。18年度は申し込み29件中28件を

開示(すべて簡易審査分、整形外科の画像フィルムコピーが多い)、委員会開催による審査となった1件は、申し込み者が基準に該当せず開示不可となった。

これ以外に法令による照会(検事・弁護士・裁判所など)が9件あり、当院の基準に沿って対応している。

臨床研修管理委員会

委員長 小笠原 英 紀

18年度は1年目6名(管理型2名、北大、札医大各2名の協力型4名)、2年目3名(管理型1名、北大協力型2名)で研修が開始された。また北海道がんセンターより産科・小児科のみを各1カ月、計2カ月研修する4名の研修医がこれに加わった。2名の研修医が重なる科もあり、指導医の先生にもご苦労をおかけし、感謝しています。

3月8日委員会が開かれ、経過報告と救急研修に関する検討も行われたが、当院の現状では一次を含

む幅広い救急研修は困難ではないかとの意見も出された。今後も引き続き検討課題としたい。

3月で管理型の打田葉子先生が途中の出産・育児を無事乗り越えて研修を終了し、院長より修了証が授与された。

4月からは1年次4名、2年次5名、北海道がんセンター1名の研修が開始されます。よろしくお願いします。

栄養管理委員会

委員長 小笠原 英 紀

毎月1回栄養管理および給食に関する事項の検討を行っている。給食に対するクレーム・インシデント例の原因と対策、各病棟からの要望などについて委託業者と検討している。18年度は給食委託業者の変更があり、味についての評価は以前よりやや良いような印象である。また4月より給食に箸とスプーンをつけるようにして好評である。またセレクトメニュー

の用紙の回収を、ボックスから患者さんのところへ行くようにして直接声や要望を聞くようにしている。

ずっと続いていた病院のオーダーシステムと給食システムとの整合性の不具合による喫食場所のトラブルは、システム企画室の努力もありやっと解決した。

薬事委員会

委員長 小笠原 英 紀

毎月1回、各科よりの新規採用申請薬品ならびに削除対象薬品などを検討している。18年度は新規採用が73品目、削除が14品目であった。

厚労省が勧めている外来でのジェネリック医薬品の処方については、委員のなかにも慎重論が強かった。そのため周辺調剤薬局とも協議し、薬剤部で検討

して品質その他に問題がないと考えられる薬品リストをあげてもらい、委員会で承認を受けて銘柄指定で処方する形にした。18年度は薬剤部提案の後発品採用は18品目であり、新たな採用希望薬品があれば申請していただきたい。

患者サービス委員会

委員長 小笠原 英 紀

18年度は、厚生労働科学研究班による全国レベルの「病院顧客満足度調査」に参加した。外来は7月4、5日の2日間、入院は7月3日から29日までの4週間の調査に職員の協力をお願いした。結果の検討を委員会で行っているが、個別の検討を全て委員会で行うことは困難で、病院機能評価に向けての準備と

合わせて検討していくことになります。

「健康フェア実行部会」は7月13-15日、11月6-8日の2回行われた。年々来場者も増えてきており、参加スタッフの皆さんの負担も大きくなってきていますがよろしくお願いします。

業務改善委員会

委員長 小笠原 英 紀

これまで看護局研修として行ってきた小集団活動を、病院全体として行うこととなり業務改善委員会が担当した。

7月8日(土)の人材育成研究所 立川義博所長の

基調講演に始まり、9月、11月の中間ヒアリングによる指導を受けて、名前も「小集団活動」から「TQM活動」と改め、2月24日(土) 岸 院長を迎えて院内講堂において発表報告会を行った。

プログラム

順	所 属	テ ー マ	グ ル ー プ 名
1	4 階病棟	グローブ戦隊ハメルンジャー ～グローブ装着率100%を目指して～	Team愚露一部
2	サンビュー中の島	無駄なお金を漏らさないっ!! ～オムツ代のコストダウン～	チーム吸収し隊
3	5 階南病棟・薬剤部	おしえて ～みんなできる!服薬指導を目指して～	ハイジとクララと ペーター
4	3 階事務局	いらっしやいマホー! ～職員等の皆様に判り易い3 階事務局～	だいじょうV!
5	5 階北病棟	スリムWorkでシェイプUP ～効率よく確実にAGの記録&コストが取れる～	My 苦労ダイエット
6	地域医療連携室	着信アリ ～スムーズな電話対応を目指して～	着信におびえる子羊と おおかみ
7	6 階南病棟	伝えてガッテン! ～情報共有をし、効率的な業務をする～	情報欠陥センター
8	医療安全管理室 検査部・放射線部	あなたのお名前なんてえ～の? ～フルネーム確認の定着化～	安全第一

(休 憩)

9	6 階北病棟・ リハビリ部	前略 車椅子の上より ～患者リハビリスケジュールをプロデュース～	ノープラン
10	医療相談室	お暇なら書いてよね、わたし寂しいの♪ ～「患者様の声」回収件数のアップを目指して～	心からもてなし隊
11	7 階病棟	入院なんてこわくない!!! ～入院時業務の短縮を目指して～	ザ・7 (ナ) ッチ
12	診療情報管理室	Dr.とPi ったり合わせてCostすっきり!! ～DPC漏れ誤りゼロへの挑戦～	DPCみなおし隊
13	手術・中材室	出戻りなし ～滅菌物の保存期限を見直して無駄をなくそう～	ECOひいき
14	栄養課	IQ ママ ～産科食の理解と摂取向上を目指して～	栄養お助け隊
15	外来・医事課・管理課	患者さん いらっしや～い! ～新患患者がスムーズに受診できるように～	外来♡ NAVIステーション

11名の審査員による厳正なる審査の結果、最優秀賞に「DPC みなおし隊」、優秀賞に「チーム吸収し隊」、そして立川賞に「ザ・7 (ナ) ッチ」が選ばれた。その他のチームにもアイデア賞、ユニーク賞、がんばったで賞などの特別賞が与えられたが、それぞれに工夫や

努力の跡が十分伺える発表であり、立川先生からも昨年よりレベルアップしたとの講評をいただいた。

次年度も委員会としてTQM活動の継続・拡大および平成21年の病院機能評価受審に向けての準備開始もあり、全職員の協力をよろしくお願いします。

職員研修委員会

委員長 小笠原 英 紀

主な活動は新入職員に対する研修会の開催である。18年度は108名の新入職員に対し、4月3日(月)から7日(金)まで研修を行った。各部門の方に資料作りや講義・オリエンテーション・実技指導などをお願いしている。

研修会の日程は、第一日、二日目に集中して小刻み

で各部門の説明があり、消化しきれない部分を含めて資料にじっくりと目を通していただきたい。

「職員研修」そのものとしては、当院では各部門や各種委員会がいろいろな研修会を講堂などで開いており、たくさんの職員の方に横断的な参加を是非お願いします。

広 報 委 員 会

平成18年度 職員広報誌「はまなす」発行状況

(毎月発行)

月 号	ページ	記 事	担 当
4 月号	1	写真 行事予定	飯塚 (施設課)
	2～10	4 月 1 日付新採用者紹介	総務課
	10	平成18年 3 月31日退職者	総務課
	11	平成18年 4 月 1 日付昇格・人事異動	総務課
	12	新たな気持ちで 病院の理念・基本方針、月報	大森 (看護局)
5 月号	1	写真、行事予定	総務課
	2・3	4 月に基幹職員になられた 3 人の方に抱負をお聞きし ました。 ・健康管理センター放射線 科業務について ・6 階南病棟の科長になっ て ・手術室新任科長について の抱負	小島 (放射線部) 本間 (6 南) 木村 (手術室)
	3	掲示板	総務課
	4	誰の? どなたの? 人事異動 病院の理念・基本方針、月報	大森 (医療安全管理)
	4	人事異動 病院の理念・基本方針、月報	総務課
6 月号	1	写真 行事予定	総務課
	2	平成17年度の決算報告につ いて	佐々木 (総務課)
	3	図書室より最初のご挨拶 お知らせ	成田 (総務課)
	4	33件も・・・ 人事異動 病院の理念・基本方針、月報	大森 (医療安全管理)
	4	人事異動 病院の理念・基本方針、月報	総務課
7 月号	1	写真 行事予定	総務課
	2	褥瘡の予防と治療 褥瘡対策委員会からの活動 報告	加藤 Dr (皮膚科) 褥瘡対策委員会
	3	マンモグラフィ施設認定の 合格 掲示板	鯉岡 (放射線部)
	4	リフレッシュ 人事異動 病院の理念・基本方針、月報	大森 (医療安全管理)
	4	人事異動 病院の理念・基本方針、月報	総務課
8 月号	1	写真 行事予定	総務課
	2・3	4 月に新入職員となられた 3 人の方に、近況をお聞き しました。 ・外来看護を通して学んだ こと ・4 月から臨床検査技師と して働いて ・北海道社会保険病院の職 員になって	田中 (外来) 紙谷 (検査部) 瀧川 (経理係)
	4	ホウ・レン・ソウ 人事異動 病院の理念・基本方針、月報	大森 (医療安全管理)
	4	人事異動 病院の理念・基本方針、月報	総務課
	4	人事異動 病院の理念・基本方針、月報	総務課
9 月号	1	写真 行事予定	総務課
	2	マラソン雑感 ～北海道マ ラソンを走り終えて～	原 Dr (整形外科)
	3	ご存知ですか? 健康づくり と契約保養所の補助金制度 について 掲示板	宮森 (保健委員)
	4	18万3000件 人事異動 病院の理念・基本方針、月報	大森 (医療安全管理)
	4	人事異動 病院の理念・基本方針、月報	総務課

月 号	ページ	記 事	担 当
10月号	1	写真 行事予定	総務課
	2・3	第42回東北北海道地区球技 大会を終えて 美味しかった牛タン 官公立野球大会に出場して 掲示板	谷口Dr (消化器科) 秋山 (6 南) 鈴木Dr (臨床研修医)
	4	明示 人事異動 病院の理念・基本方針、月報	大森 (医療安全管理)
	4	人事異動 病院の理念・基本方針、月報	総務課
	1	写真 行事予定	総務課
11、12月号	2・3	日本社会保険学会総会に参 加して ・岐阜といえば「柳ヶ瀬ブ ルース」 ・第44回日本社会保険学会 総会に参加して	新木 (薬剤部) 高橋 (放射線部)
	3・4・5	なかのしま健康フェアに参 加して ・なかのしま健康フェア ・健康フェアに参加して	早瀬 (外来) 近藤 (6 北)
	6	言葉ははっきりと 人事異動 病院の理念・基本方針、月報	大森 (医療安全管理)
	6	人事異動 病院の理念・基本方針、月報	総務課
	6	人事異動 病院の理念・基本方針、月報	総務課
1 月号	1	写真 行事予定	総務課
	2	年頭のご挨拶	院長
	3・4	年男・年女アンケート	職員多数
	5	2007年度年男・年女の方々 クリスマスコンサート	総務課
	6	ダブルチェック 人事異動 病院の理念・基本方針、月報	大森 (医療安全管理)
2 月号	1	写真 行事予定	総務課
	2	次期医療情報システム	小笠原副院長
	3	テレビは頂きましたについて	佐藤 (薬剤部)
	4	第1回豊平区薬薬連携セミ ナー開催について 医学・看護書展示会	横山 (薬剤部)
	5	TQM活動発表報告会のお 知らせ インフルエンザ予防	成田 (図書室)
3 月号	6	人事異動 病院の理念・基本方針、月報	総務課
	1	写真 行事予定	総務課
	2	インフルエンザについて	広瀬副院長
	3・4	3 月末退職者の方から ・思い出いっぱいの中から ・6 年間の思い出	佐藤 (経理係) 櫻井 (6 南)
	4	人事異動	総務課
3 月号	5	新医療情報システムに向け て発動!	瀧澤 (システム企画)
	6	訂正と反省 平成18年12月職員健康診断 結果 病院の理念・基本方針、月報	大森 (医療安全管理)
	6	平成18年12月職員健康診断 結果 病院の理念・基本方針、月報	総務課
	6	平成18年12月職員健康診断 結果 病院の理念・基本方針、月報	総務課
	6	平成18年12月職員健康診断 結果 病院の理念・基本方針、月報	総務課

平成18年度

患者様広報誌 「北海道社会保険病院だより」 発行状況

(奇数月 発行)

発行年月日	号数	記 事	担 当
平成18年 5 月	第19号	新たな「禁煙外来」のご案内	五十嵐顧問（禁煙外来）
		春の保健医療福祉制度の改正	佐藤SW（医療相談室）
平成18年 7 月	第20号	メタボリックシンドロームとは？	石井Dr（糖尿病・代謝内科）
		転院についてのお話	佐藤SW（医療相談室）
平成18年 9 月	第21号	運動でメタボリックシンドロームを改善しよう	館（リハビリテーション部）
		保険制度が変わります	佐藤SW（医療相談室）
平成18年11月	第22号	貧血のお話	能登谷Dr（血液・膠原病科）
平成19年 1 月	第23号	新年のご挨拶	岸院長
		「患者さまの声」について	野田（医療相談室）
		編集後記	事務局
平成19年 3 月	第24号	肺ガンについて	原田Dr（呼吸器科）
		「7 階病棟」紹介	小林（7 階病棟）
		お米の健康効果について	得能（栄養課）

平成18年度

地域医療連携広報誌 「豊平河畔だより」 発行状況

(年 4 回 発行)

発行年月日	号数	記 事	担 当
平成18年 4 月	第14号	メニュールの呪縛	金谷Dr（耳鼻咽喉科）
		症例検討会開催の報告	地域医療連携室
		症例検討会開催のご案内	
		医師人事異動のお知らせ	
		地域医療連携室からのお知らせ	
平成18年 6 月	第15号	なかのしま健康フェア&夏祭りのご案内	地域医療連携室
		症例検討会開催の報告	
		症例検討会開催のご案内	
平成18年11月	第16号	前門のタバコ病、後門の禁煙肥満	五十嵐顧問（禁煙外来）
		連携室よりご案内	地域医療連携室
		症例検討会開催の報告	
		症例検討会開催のご案内	

医療安全管理委員会

医療安全管理室長 大 森 静 香

医療安全管理委員会は月1回開催

平成18年度、医療安全管理室が設置され、医療事故防止対策に関する各委員会の位置づけや業務内容等が改正され、医療安全管理を組織横断的に取り組むように活動を行ってきました。

今年度マニュアルの改訂・追加になったもの

1. 医療事故の分類

医療事故を患者の影響度によって分類、報告することとした。

インシデント：

- レベル0 実施される前に気付いた事例
- レベル1 間違いが実施されたが、患者に影響がなかった事例
- レベル2 処置や治療を行わなかった事例
- レベル3a 簡単な治療や処置を要した事例

アクシデント：

- レベル3b 濃厚な処置や治療を要した事例
- レベル4 障害が残る可能性が生じた事例
- レベル5 死因となった事例

2. 手術部門 残存確認について

腹部及び胸部手術時は閉創直後にX線撮影をしてガーゼ等残存のないことを確認してから帰室させる。

医療安全管理対策職員研修会 3回開催

第1回 平成18年6月30日(金)

「輸血の過誤防止」

講師 北海道赤十字血液センター

医薬情報課 係長 葛間 一裕

参加者数 141名

第2回 平成18年10月4日(水)

「輸液ポンプ使用方法・注意事項について」

講師 ME部 多羽田雅樹

参加者数 140名

第3回 平成19年3月7日(水)

「AED基本原理と使用方法」

講師 心臓血管センター長・心臓内科部長

五十嵐 慶一

参加者数 204名

図書管理委員会

図書委員長 古 家 乾
図書司書 成 田 ナツキ

平成18年度、図書管理委員会では、全職員へ開かれた施設として図書室の整備を行うという基本方針と、図書管理業務の組織化による図書室機能の充実の必要性を確認し、今後の協議事項と、施設・設備面の整備などについて検討した。

この1年、図書室では資料の整理作業を実施。図書資料管理データベースの構築、資料の移動作業などにより、図書室内資料の体系的な資料整備がほぼ実現化した。

当院図書室は電子資料が充実しているのが特徴であるが、ポータルサイトの開設、電子ジャーナルと

文献データベースとのリンクなど、利用者に有用なツールの提供とともに、利用アンケート調査などを実施し、電子資料の利用促進のための活動を行った。利用サービス面では、図書室担当者による各種問い合わせ対応、文献検索案内・指導、文献相互利用業務など、これまでは行っていなかったサービスを開始した。

そのほか、ネットワーク加入による他機関との相互協力体制の樹立、各種統計調査など、図書室機能の確立のための基盤固めを行った。

今後は、図書室の機能の充実や環境整備、図書室

外資料の整理作業を進めるとともに、医学・医療情報
 報を有効に利用できるよう、利用者教育を積極的に

行ってゆきたい。

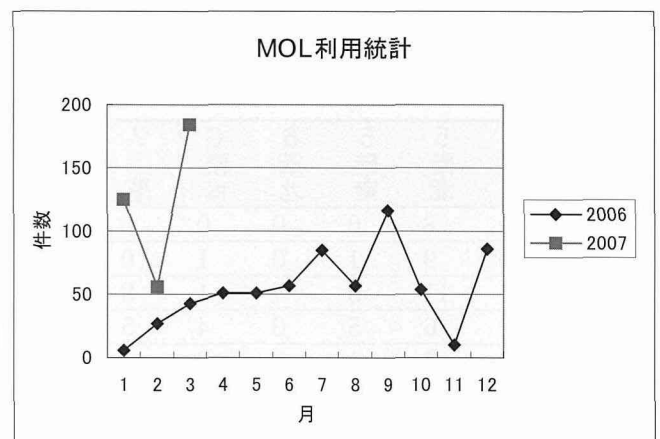
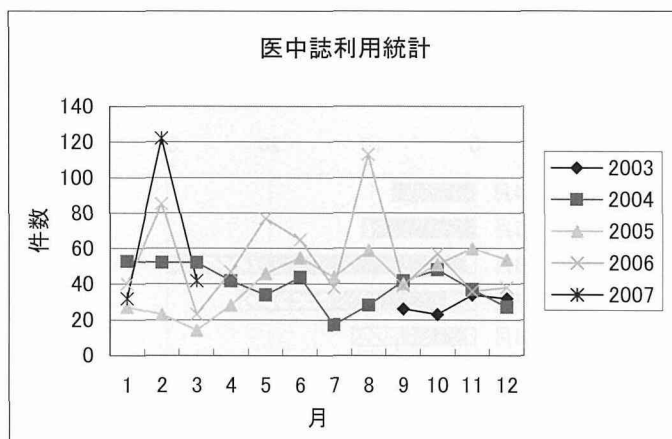
電子資料利用の推移

文献データベース（医中誌 Web）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
2003	-	-	-	-	-	-	-	-	26	23	34	32	115
2004	53	52	52	42	34	44	17	28	42	48	37	27	476
2005	27	23	14	28	46	55	44	59	40	51	60	54	501
2006	40	85	23	47	77	65	38	113	39	57	36	38	658
2007	32	122	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	196

和文電子ジャーナル（メディカルオンライン）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
2006	6	27	43	51	51	57	85	57	116	54	10	86	643
2007	125	56	184	-	-	-	-	-	-	-	-	-	365



NST委員会

NST委員長 古 家 乾

2006年4月の診療報酬改訂により、医療保険における「栄養管理実施加算」が新設され、入院基本料として一人1日につき12点の加算が認められた。従来のNST活動は、入院時のスクリーニングから主に低栄養状態の患者さんを拾い上げ、重点的に関与するという体制であった。しかしこの「栄養管理実施加算」実現のためには、医師、管理栄養士、看護師、薬剤師、検査技師、その他の医療従事者などが共同して入院患者全員の栄養管理を行い、定期的に記録していくことが必須の条件となった。これらの状況を踏まえて、当院でも2006年6月から一部小児科を除く全科型NST導入と栄養管理が一体化して稼働することになった。診療報酬がついた結果が、

病院全体として栄養管理体制を見直す契機になったといえよう。

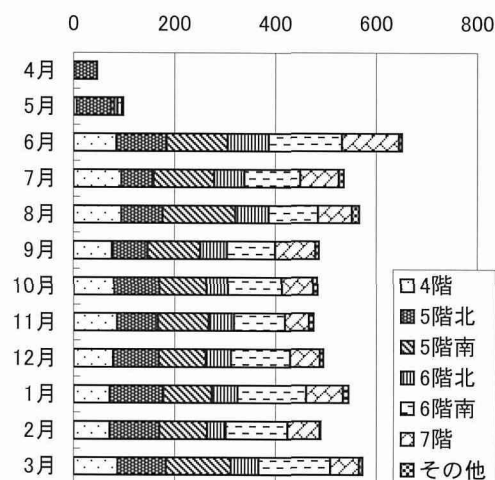
施設認定に関しては、2006年9月1日付けで日本栄養療法推進協議会（JCNT）のNST稼働施設の暫定認定（3年間有効）を受け、さらに2007年3月20日付けで日本静脈経腸栄養学会のNST専門療法士認定制度に基づく学会認定教育施設として認定された。これは専門療養士資格取得に必要な40時間の研修が当院で可能になり、この資格が取得しやすくなったことを意味する。

最後に、この一年間のNST活動の資料を掲載して一年の締めくくりとしたい。

●NSTスクリーニング実施数 (平成18年4月～平成19年3月)

単位：件

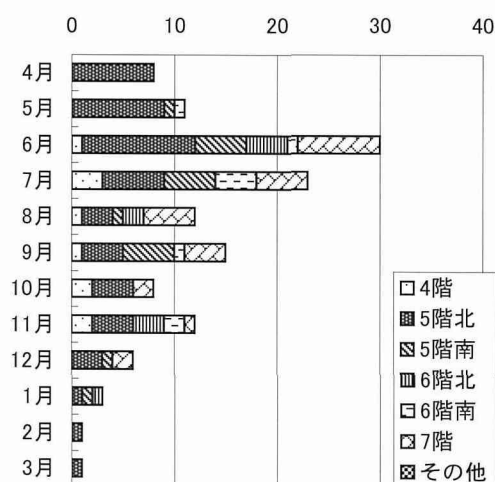
部 門	4 階	5 階北	5 階南	6 階北	6 階南	7 階	そ 他	合 計
4月	0	46	0	0	0	0	1	47
5月	6	68	7	6	9	1	2	99
6月	85	100	121	81	145	113	6	651
7月	95	64	120	60	111	76	10	536
8月	95	82	144	66	98	67	15	567
9月	76	71	105	53	95	80	7	487
10月	80	90	94	42	107	62	9	484
11月	86	81	101	50	101	47	10	476
12月	78	91	93	50	117	59	7	495
1月	71	107	96	51	136	73	11	545
2月	71	99	95	37	122	64	2	490
3月	87	96	129	55	142	57	7	573



●NSTアセスメント実施数 (平成18年4月～平成19年3月)

単位：件

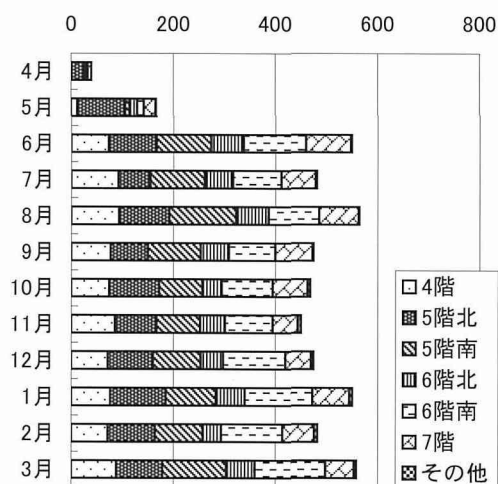
部 門	4 階	5 階北	5 階南	6 階北	6 階南	7 階	そ 他	合 計
4月	0	8	0	0	0	0	0	8
5月	0	9	1	0	1	0	0	11
6月	1	11	5	4	1	8	0	30
7月	3	6	5	0	4	5	0	23
8月	1	3	1	2	0	5	0	12
9月	1	4	5	0	1	4	0	15
10月	2	4	0	0	0	2	0	8
11月	2	4	0	3	2	1	0	12
12月	0	3	1	0	0	2	0	6
1月	0	1	1	1	0	0	0	3
2月	0	1	0	0	0	0	0	1
3月	0	1	0	0	0	0	0	1



●栄養管理計画実施数 (平成18年4月～平成19年3月)

単位：件

部 門	4 階	5 階北	5 階南	6 階北	6 階南	7 階	そ 他	合 計
4月	1	24	2	5	1	7	0	40
5月	12	94	9	15	13	23	1	167
6月	73	94	107	64	122	88	2	550
7月	92	63	107	55	95	67	3	482
8月	93	99	131	64	99	77	2	565
9月	77	73	104	55	91	73	2	475
10月	74	98	85	38	100	68	6	469
11月	85	82	86	48	94	49	7	451
12月	71	89	94	44	122	50	5	475
1月	76	109	99	56	133	72	6	551
2月	71	93	94	36	120	62	7	483
3月	88	91	125	56	138	56	5	559



●NST研修会

	日 時	内 容	参加者	講 師
26回	4. 27	中心静脈カテーテルの挿入方法及び管理	57名	消化器科主任部長 古家 乾
27回	6. 1	肝硬変と栄養	60名	大塚製薬
28回	7. 20	PEGの知識を深めよう	82名	消化器科医長 定岡 邦雅
29回	8. 17	経腸栄養剤の種類と選択	48名	各製薬メーカー アボットジャパン (株)・テルモ・アボットジャパン
30回	10. 26	褥創について	40名	神崎褥創委員長・相馬栄養課長
31回	11. 16	摂食障害と口腔ケア	66名	西円山病院歯科診療部長 藤本 篤
32回	1. 18	COPD患者の栄養療法	47名	アボットジャパン(株) 管理栄養士 合谷 隆義
33回	3. 15	終末期（≡緩和ケア期） がん患者の輸液療法	64名	呼吸器科医長 原田 敏之

●NSTカンファレンス

7/27	4人	10/19	3人
8/2	1人	11/2	4人
8/10	3人	11/19	3人
8/17	4人	12/21	2人
8/24	2人	12/21	2人
8/31	4人	12/28	1人
9/7	4人	1/11	2人
9/14	3人	1/25	1人
9/21	2人	2/15	3人
9/28	2人	3/8	1人
10/4	2人	3/15	2人
10/12	1人	3/22	1人

●委員会

8月24日	教育施設の申請について
9月14日	広報活動／NSTニュース
10月4日	嚥下機能評価／フローチャートの活用
12月21日	提言書の問題点
1月11日	体重計の活用頻度について

被 服 委 員 会

委員長 長 山 美知子

被服委員会は3回開催し、以下の議題について討議しました。

1. 被服貸与表・被服等貸与規則の見直し

昭和47年に改訂された被服貸与表および被服等貸与規則を現状にあった内容に見直しました。技能職員（施設課）の作業衣の貸与の再開と男性事務職員のワイシャツの支給を決定しました。

2. 職員ユニフォームのリース拡大の検討

看護職員と医療技術職員のリースが定着し、医師のユニフォームもリース契約に変更できないか検討を進めています。

3. 共有被服の定数管理式のリースの検討

手術衣・検査衣等の共有被服に関しても定数でのリースが可能か継続して検討中です。

パス委員会

パス委員長 古 家 乾

昨年度の各科パス使用状況を別表に掲載する。
パスの構成統一化などが委員会で検討された。しかし、新電子カルテの導入に近いことから、新電子カ

ルテのパス作成機能、評価機能などを検討しつつ、紙パスから電子カルテパスへのスムーズな導入を目指すことにした。

クリテカルパス利用状況

平成18年4月～平成19年3月
(改訂した場合は、改訂後～)

診療科	種 類	導入(改訂)時期	症例数	C P		利用率		バリエーション		コ メ ント
				利用数		%		数	率	
産婦人科	切 迫 流 早 産	H16～	71	71		100		9	12	
	妊 娠 中 毒 症	H16～	22	22		100		0	0	
	経 膣 分 娩 産 褥	H16～	311	311		100		0	0	合計337例 利用率100
		H19. 3月～	26	26		100		1	3.8	バリエーション発生率0.2%
	帝 王 切 開 術 産 褥	H18. 4月～	99	99		100		0	0	
	婦 人 科 手 術	H18. 4月～	125	125		100		0	0	
	婦 人 科 化 学 療 法	H16～	80	80		100		6	7.5	
	子 宮 内 容 清 掃 術	H16～	25	25		100		0	0	H19. 3月改訂
	頸 管 縫 縮 術	H16～	1	1		100		0	0	H19. 3月改訂
	急 性 腹 症	H19. 3月～	0	0		0		0	0	
小児科	妊 娠 悪 阻	H19. 3月～	1	1		100		0	0	
	心 臓 カ テ ー テ ル 検 査	H15～	8	8		100		0	0	
	N O 療 法	H16～	22	22		100		0	0	
	成長ホルモン分泌刺激試験	H17. 9月～	9	3		33.3		0	0	
	家族性高コレステロール血症	H16～	12	12		100		0	0	
	胃 腸 炎	H17. 9月～	116	84		72.4		1	1.2	
	呼吸器感染症・中耳炎	H17. 9月～	1,070	437		40.8		3	0.6	
	新生児一過性多呼吸	H16～								中止
	早産・低出生体重児	H18. 4月～	46	46		100		0	0	
	保育器からコットに移床した児	H19. 3月～								カウントなし
	帝王切開により出生した児	H16～	56	56		100		0	0	
	子宮内感染疑いで出生した児	H16～	98	98		100		0	0	
	田 端 裕 樹 氏 パ ス	H18. 8月～	8	8		100		0	0	定期的な入退院
	巨 大 児	H19. 3月～	1	1		100		0	0	
	甲状腺疾患母親からの出生児	H19. 3月～								

診療科	種 類	導入（改訂） 時 期	症例数	ＣＰ	利用率 %	バリエーション		コ メ ント
				利用数		数	率	
消化器内科	上部消化管内視鏡(入院・外来)	H14～	373	373	100	1	0.2	
	下部消化管内視鏡(入院・外来)	H14～	206	206	100	0	0	
	肝 生 検	H14～	64	64	100	0	0	
	腹部血管造影・肝動脈塞栓術 経皮的ラジオ波凝固療法	H16～	105	102	97	4	3.9	
	内視鏡的逆行性胆膵管造影 内視鏡的乳頭バルン拡張術 経鼻胆管ドレナージ	H17.8月～	76	76	100	10	13.1	
	内視鏡的食道脈瘤硬化療法 内視鏡的食道静脈瘤結紮術	H17.8月～	55	55	100	3	5.4	
	悪性リンパ腫 R-CHOP		2	1	50	0	0	
	胃 切 パ ス		3	3	100	0	0	
	腸 切 パ ス		1	1	100	0	0	
	胆 石 O P パ ス		1	1	100	0	0	
心臓内科	心 臓 カ テー テ ル 検 査	H16～	782	782	100	74	9.4	紹介による腎不全症例が増加。カテ前後が延長される症例が増加。現在、腎不全患者のパスを作成中。カテ日が隔日であり、土日を狭むことで入院日数の延長。
	P C I	H16～	281	281	100	55	19.5	
	ペースメーカー植込み術	H16～	33	33	100	19	57.6	術後の抗生剤の予防投与期間が延長しバリエーション例が増加。パスの内容の見直しが必要。
	急性心筋梗塞 CPK<1000	H16～	24	24	100	14	58.3	心不全の合併症例、残存狭窄の治療日程の都合から、設定された入院期間の延長されるケースがある。
	急性心筋梗塞 CPK<4000	H16～	10	10	100	5	50	
	急性心筋梗塞 CPK>4000 合併症	H16～	10	10	100	8	80	
心臓血管外科	C A B G ・ 弁 置 換 術 術前～術後	H16～	51	51	100	30	58.8	緊急手術が入り、予定の手術が延長された症例がある。高齢者の手術、他施設からの紹介患者で従来のADLに制限があり、退院調整に時間がかかる症例増えた。もともとパスの入院期間の設定がはつきりしない。パスを適応される期間について再検討の必要がある。医師の交代があり、治療法や経過に変化があり、再検討の必要がある
	大 血 管（AAA・A-F） 術前～術後	H16～	11	11	100	4	36.4	
	末梢血管（F-P・F-F） 術前～術後	H16～	4	4	100	2	50	
腎臓内科	内 シ ャ ン ト 造 設 術	H16～	12	12	100	3	25	ハイドレーション後にアクセス造設したり、造設後に透析を導入するか否かで入院日数に大幅の違いが出る。その為術前日から抜糸までの経過をパス適応期間とした。
	上 腕 動 脈 表 在 化 術	H16～	5	5	100	1	20	
	IgA腎症ステロイドパルス療法 5泊6日	H17.7月～	6	6	100	4	66.7	家族・患者の都合に夜入院延長
	IgA腎症ステロイドパルス療法 長期入院	H17.7月～	2	2	100	0	0	

診療科	種 類	導入(改訂) 時 期	症例数	C P	利用率	バリエーション		コ メ ン ト
				利用数	%	数	率	
血液	悪性リンパ腫化学療法		12	12	100	0	0	
	末梢血幹細胞移植	H16～	0	0	0	0	0	
眼科	白内障手術	H16～	86	86	100	0	0	
	その他の眼科術	H16～	13	8	62	0	0	
整形外科	半月板切除術	H17. 4月	3	3	100	0	0	
	鎖骨骨折	H17. 7月～	5	4	80	0	0	
	アキレス腱手術	H17. 7月～	2	0	0			
	金属抜去術	H17. 7月～	11	11	100	0	0	
	上腕骨骨折	H17. 7月～	6	4	67	0	0	
	ミエログラフィー	H17. 7月～	12	12	100	0	0	
	椎間板ヘルニア	H17. 7月～	5	5	100	0	0	
	腰椎固定術	H17. 7月～	6	6	100	1	16	除圧のため再手術
外科	胃切除術	H17	31	31	100	2	6. 5	吻合部狭窄で再手術
	腸切除術	H17	70	62	88. 5	10	16. 1	癒痕ヘルニアで再手術等
	肺疾患手術(開胸・胸腔鏡下)	H17	61	61	100	3	4. 9	病理で悪性にて再手術等
	腹腔鏡下胆嚢摘出術	H17	62	56	90. 3	11	19. 6	開腹に変更
	甲状腺切除術	H17	10	10	100	0	0	
	鼠径ヘルニア	H17	45	40	88. 9	2	5	翌日再手術、術式変更等
	乳がん(手術)	H17	15	15	100	3	20	術後出血で再手術他
泌尿器科	腎・尿管手術	H17	13	13	100	2	15. 4	術後疼痛で退院延期等
	前立腺全摘術	H17	17	17	100	0	0	
	T U R - P	H17	17	17	100	2	11. 8	血尿等
	T U R - B T	H17	35	35	100	2	5. 7	術後出血で再手術他
	T U L	H17	8	8	100	1	12. 5	患者都合で2日入院
	前立腺針生検	H17	85	84	98. 8	2	2. 4	尿閉。患者の都合等
	E S W L	H17	2	2	100	0	0	

診療科	種 類	導入（改訂） 時 期	症例数	C P	利用率 %	バリエーション		コ メ ン ト
				利用数		数	率	
耳鼻科	扁桃腺摘出（成人）	H17	68	68	100	4	5.9	術後出血.術後疼痛
	扁桃腺摘出（小児）	H17	30	30	100	0	0	
	鼻内内視鏡	H17	67	37	100	0	0	
	鼓膜チューブ挿入	H17	59	55	93.2	0	0	
	鼓膜接着術	H18	11	11	100	0	0	
	甲状腺・鼻下腺・顎下腺切除術	H17	24	24	100	1	4.2	切除範囲小さく3日入院
呼吸器科	肺炎		62	8	12	0		誤嚥性肺炎は作成していません
	非定型抗酸菌症	H17.11月～	30	20	66	0		
	睡眠時無呼吸症候群		6	6	100	0		
	在宅酸素療法導入	H17.11月～	18	18	100	0		
	化学療法	作成していません						
	糖尿病教育入院		97	93	95	1		高齢の為教育がスムーズに進まず大幅に入院期間長くなった
産婦人科（手術）	気管支鏡		173	173	100	0		
	帝王切開術	H17.8月～	98	98	100	0		
	人工中絶術		27	27	100	0		
	シロツカ一		2	2	100	0		
	円錐切除術		13	13	100	0		
	婦人科開復術		76	76	100	0		
外科（手術）	腔式子宮全摘術		27	27	100	0		
	ヘルニア（成人）		40	40	100	0		
	ヘルニア（小児）		12	12	100	0		
	乳房切除		17	17	100	0		
	胃切除		32	32	100	0		
	胆嚢摘出		68	68	100	0		
	腸切除		68	68	100	0		
	甲状腺摘出		11	11	100	0		
	V A T S		81	81	100	0		

診療科	種 類	導入(改訂) 時 期	症例数	C P	利用率	バリエーション		コ メ ン ト
				利用数	%	数	率	
整形外科 (手術)	ス コ ピ ー (Ns用のみ)		13	13	100	0		
	腰 椎 ヘ ル ニ ア		15	15	100	0		
	腱 鞘 切 開 (Ns用のみ)		23	23	100	0		
	P N F		25	25	100	0		
耳鼻科 (手術)	扁 摘		100	100	100	0		
	ア デ ノ イ ド		22	22	100	0		
	ラ リ ン ゴ		37	37	100	0		
	チ ュ ー ビ ン グ		72	72	100	0		
	E S S (鼻内内視鏡)		55	55	100	0		
	下甲介レーザー(Ns用のみ)		46	46	100	0		
泌尿器科 (手術)	精 巢・包 茎 (Ns用のみ)		20	20	100	0		
	腎 生 検		29	29	100	0		
	前 立 腺 針 生 検		81	81	100	0		
	T U R - P		17	17	100	0		
	T U R - B T		34	34	100	0		
心外 (手術)	T U L		9	9	100	0		
	腹部大動脈瘤切除(Ns用のみ)		12	12	100	0		
	F-Pバイパス (Ns用のみ)		9	9	100	0		
	内 シ ャ ン ト (Ns用のみ)		28	28	100	0		
眼科 (手術)	高 位 結 紮 (Ns用のみ)		12	12	100	0		
	眼 科 全 麻 (Ns用のみ)		19	19	100	0		
	眼 科 局 麻 (Ns用のみ)		18	18	100	0		
	網 膜 剥 離 (Ns用のみ)		6	6	100	0		
汎用	白 内 障 (Ns用のみ)		104	104	100	0		
	小 切 開 (Ns用のみ)		97	97	100	0		

診療科	種 類	導入(改訂) 時 期	症例数	C P	利用率 %	バリエーション		コ メ ン ト
				利用数		数	率	
外 来	上 部 内 視 鏡 検 査	H18.12改訂	2227	186	8.3	0	0	
	大 腸 内 視 鏡 検 査	H18.7改訂	1164	54	4.6	0	0	
	大 腸 ポ リ ー プ 切 除 術	H18.4	173	173	100	0	0	
	気 管 支 鏡	H19.2改訂	21	21	100	0	0	
	(耳鼻咽喉科)一泊四日入院	H17.3	63	63	100	0	0	耳チュービング用
	(耳鼻咽喉科)外 来 手 術	H17.3	62	62	100	0	0	
	外 来 血 液 製 剤 治 療	H18.2	76	76	100	0	0	
	外 来 イ ン ス リ ン 導 入	H18.2	19	19	100	0	0	
	外 来 S M B G	H18.2	19	19	100	1	5.2	
	禁 煙	H19.1	17	17	100	0	0	
	透 析 導 入	H17.10	11	11	100	0	0	
	維 持 透 析 心 カ テ 後	H19.2	5	5	100	0	0	
	保 存 期 腎 不 全 心 カ テ	H19.2	0					
	リ ポ ソ ー バ ー	H17.9	281	281	100	4	1.4	
	F A G	H19.1改訂	22	22	100	0	0	
	E S W L	H19.2改訂	220	208	94	12	5.7	

臨床病理委員会

病理部長 服部 淳夫

以下のごとく、病理解剖症例の臨床病理検討会を定期的に開催し、活発な討論を行なっている。

第25回剖検検討会（CPC）平成18年4月17日
胸部急性大動脈解離・心タンポナーデの術後に、心不全で死亡した1例。

座長司会：外科部長 数井 啓蔵
臨床：心臓血管外科部長 金岡 健
病理：病理部長 服部 淳夫

第26回剖検検討会（CPC）平成18年5月29日
交通事故後の胸痛があり、その後びまん性肺胞出血を疑った急性呼吸不全と、多臓器不全で死亡した1例。

座長司会：消化器科主任部長 古家 乾
臨床：呼吸器科主任部長 秋山也寸志
病理：病理部長 服部 淳夫

第27回剖検検討会（CPC）平成18年9月27日
慢性腎不全で人工透析中に、心臓弁置換術などの術後に、多臓器不全で死亡した1例。

座長司会：呼吸器科主任部長 秋山也寸志
臨床：心臓血管外科部長 松浦 弘司
病理：病理部長 服部 淳夫
臨床研修医 高橋 正和

第28回剖検検討会（CPC）平成18年10月30日
特発性間質性肺炎で加療中に、急性心不全で死亡した1例。

座長司会：血液膠原病科部長 大江 真司
臨床：心臓内科医長 石丸 伸司
心臓内科研修医 野口 晋佐
病理：病理部長 服部 淳夫

第29回剖検検討会（CPC）平成18年11月20日
急性骨髄性白血病の加療経過中に、肺炎・肝膿瘍の悪化で死亡した1例。

座長司会：外科部長 数井 啓蔵
臨床：血液膠原病科部長 大江 真司
病理：病理部長 服部 淳夫

第30回剖検検討会（CPC）平成18年12月26日
C型肝硬変の加療経過中に急性腎盂腎炎と肝性脳症の悪化で死亡した1例。

座長司会：消化器科主任部長 古家 乾
臨床：消化器科医長 谷口菜津子
病理：病理部長 服部 淳夫

第31回剖検検討会（CPC）平成19年1月29日
便秘・イレウスの加療経過中に敗血症とDICの悪化で死亡した1例。

座長司会：呼吸器科主任部長 秋山也寸志
臨床：消化器科医長 谷口菜津子
病理：病理部長 服部 淳夫

第32回剖検検討会（CPC）平成19年2月27日
5年間に30kgの体重減少を認めたMPO-ANCA陽性の66歳男性の突然死例。

座長司会：血液膠原病科部長 能登谷 京
臨床：呼吸器科主任部長 秋山也寸志
病理：病理部長 服部 淳夫